

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607 京都市山科区大宅山田町34 京都橘女子大学図書館 小林倫道気付
 (Tel) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

速報、阪神大震災・大学図書館被災状況

兵庫県南部地震は阪神地方に壊滅的な打撃を与え、死者も5千人を上回る大惨事となりました。震災の犠牲になられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表すとともに、心と体に深い傷を負われた被災者の方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

被災地の兵庫支部会員の皆さんは、家屋、家財の被害は避けられなかったものの、全員の無事が確認されました。兵庫支部委員会では被災地の状況を全国に発信するとともに会員の協力を求めるため、また一日も早い活動再開を期して、いち早く支部報「緊急号」を出して復興への一歩をしるされました。

災害のあまりの大きさに、現地との連絡は勿論、テレビ・新聞等で報道されない部分については今だに概況すらつかめない状態ですが、本号では大図研兵庫支部報「緊急号」、国立大学図書館協議会による被害状況まとめ、大阪大学附属図書館による被害と今後の対応のまとめ、大阪教育大学の寒川登氏の被災図書館復旧支援活動報告、個別図書館との連絡、等により、今までに把握している範囲の被災状況をまとめました。

■神戸大学（神戸市灘区）

中央図書館で集密書架倒壊、建物に亀裂。書庫の鉄骨が曲がっている。人文系図書館で書架倒れ、図書散乱。1月30日より開館予定（1月28日予想）。

■神戸商船大学（神戸市東灘区）

建物は外見上異常ないが、接合部の床に亀裂及び10センチ程の段差。ほとんど全部の書架倒れる。図書はほとんどが落下し、床にうずたかく積もっている。開架室30%修理不能。集密書架全壊。

積層書架とコンピュータは無事。職員も全員無事。新学期に開館出来るかわからない状況。大学が避

兵庫支部連絡先

水田健介	【職場】	関西学院大学理学部図書館	0798-54-6227
	【自宅】		078-951-2272
田中 力	【職場】	関西学院大学産業研究所	0798-54-6127
	【自宅】		0798-51-7631

難所になっていて500人(1月27日現在。地震直後1200人)が避難。地震対策本部が図書館1階に設置されている。1月27日、国立大学図書館による応援部隊が支援を行なう(応援部隊の一人、大阪教育大学附属図書館の寒川登氏撮影の写真参照=次頁、次々頁)。

■神戸常盤短期大学(神戸市長田区)

図書館のある棟が避難所に。学生、教職員も出校できる状況ではない。閉館時期未定。

■英知大学(尼崎市)

散乱した図書の片付けに職員7名で5日を要す。電動書架やや破損。閉館はせず。

■関西学院大学(西宮市)

電動書架破損。大がかりな修理を要す。1月26日より開館。理学部図書室で給水パイプ破損で漏水。落下図書・雑誌の40冊が浸水。ガラスの破片が散乱し、片付け難航。停電。隣室の有機化学実験室で出火し室内全焼。

■大手前女子大学(西宮市)

事務棟が辛うじて機能しているが、他棟は被害甚大。学生自宅待機。

■神戸女学院大学(西宮市)

校舎の多くが全半壊。

■鳴門教育大学(鳴門市)

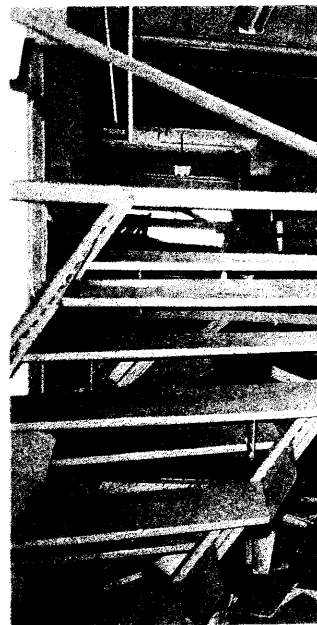
片面書架3基転倒。

■岡山大学(岡山市)

図書数100冊落下。廊下にヒビ。

■大阪大学(豊中市、吹田市)

本館、吹田分館、理学部図書室で書架傾斜または全壊。生命科学分館でスチール書架にねじれ。基礎工学部図書室で書架全壊。全学で約13万冊が落下。全館・室とも1月23日までは開館。但し、部分的に立入禁止。



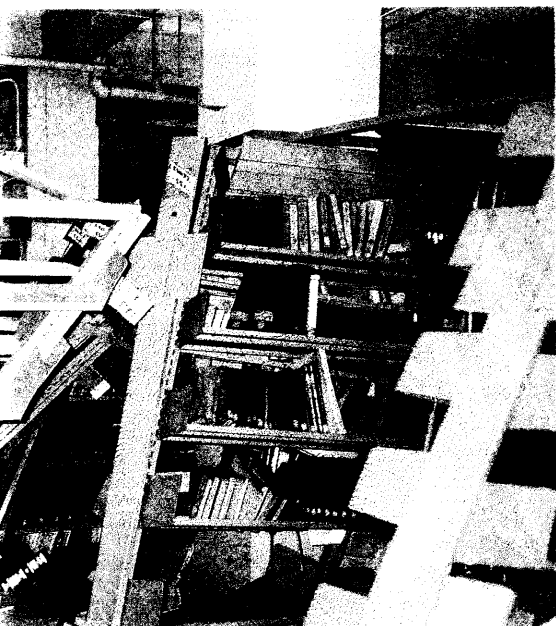
■立命館大学（京都市北区）

給水管が折れ、漏水で100冊浸水。壁面に亀裂。タイル落下。ガラス破損。天井や照明器具にも被害。

■京都橘女子大学（京都市山科区）

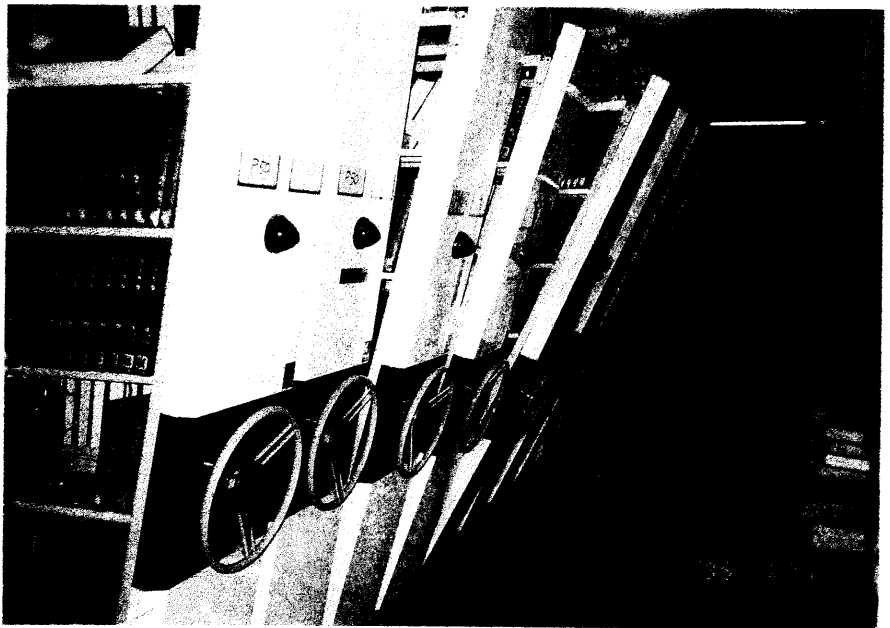
図書が相当数落下（推定2000冊。階上の積層書架で著しかった）。

その他、明らかになっていない被害が相当あることは確実です。また、被災地域に散在にする公共図書館も甚大な被害を受けている模様です。大阪では府立中ノ島図書館で書庫の一部が全壊したと聞き及んでいます。



【神戸商船大】 左／大破した書架 右／散乱した図書（書架は無事）

寒川氏撮影



【神戸商船大】 上／片付け後の閲覧室 下／集密書架（近付くと危険） 寒川氏撮影